

鳥根県立農林大学校

農業科短期養成コース

令和6年度入学生募集!



農業科 短期養成コースの特徴

- 1 農業経営者に必要な知識・技術が短期間で身につく
- 2 卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、移住～研修～就農までのプランが明確!
- 3 入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

農業科 短期養成コースのカリキュラム

①基礎講義
農林大学校農業科の共通講義・専攻別講義の受講により、農業の基礎的な知識を習得

②就農予定地研修
就農予定地の先進農家（師匠）での実践研修等により卒業後の円滑な就農に向けた準備を支援

必修
③特別集中講義
全国から第一線で活躍している講師を招き、農業経営者として必要な専門知識を学ぶ

④農業実習
教員の指導のもと、学校実習ほ場で生産から販売までの一連の流れを実習

⑤資格・免許取得
講義と実習で農業に必要な資格・免許の取得をサポート。（受験費等は自己負担）

基礎講義	共通講義	・植物生理 ・土壌肥料 ・園芸施設 ・作物保護 ・野生鳥獣被害対策 ・農業気象 ・農業組織論 など
	専攻別講義	・園芸各論 ・有機農業学 などの専攻に応じた専門講義
就農予定地研修		・就農予定地の先進農家での実践研修 ・市町村・JA・普及部との就農に向けた打ち合わせ 等
特別集中講義（必修）	農業新技術	・農業ICT ・農業先進技術
	マーケティング・流通	・マーケティング ・消費者心理と行動 ・農産物等食品流通 ・企画提案実務 ・6次産業化事例研究 など
	会計・ファイナンス	・農業簿記 ・農業経営診断と会計管理 ・経営の法学 など
	マネジメント	・農業リスク論 ・労務管理 ・GAP論 ・コーチング論 ・情報収集と管理 など
農業実習		圃場の栽培管理を通して生産から販売までの流れを実践
その他		・先進農家等視察 ・各種研修会への参加 ・パイプハウス建設実習 ・農林大学校主催発表会への参加 等
資格免許		【取得可能免許・資格例】 大型特殊免許、フォークリフト運転技能講習、狩猟免許（わな猟免許）、車両系建設機械運転技能講習、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、けん引免許等

学生相手にも分かりやすい講義がされており、農業初心者でも安心して学ぶことができます。



※講義イメージ

就農予定市町で先進農家を紹介してもらい、栽培技術習得を中心とした研修を行います。その間に、「農地の確保」から「農業機械や農業施設の整備」「就農計画の作成」などを行います。

外部講師を招聘し、より高度な専門講義をワークを絡めながら実践的にレクチャー

校内練習を行う等、様々な資格取得を支援します。

2

卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、農大での研修～就農までのプランが明確！

農業科 短期養成コースでは、「卒業後に県内で就農見込みの方」向けの自営就農を目標とした研修・技術習得を行います。そのため、入学前に県内市町村と相談の上、就農予定地を決め「就農ビジョン」をもっていただく必要があります。

就農予定地の検討は、各市町村が作成している「就農パッケージ」を参考に進めることができます。島根県では、研修内容・農地・住居・販路・経営モデル等をひとまとめにした「就農パッケージ」を用意し、就農準備や住居の不安なく就農できる体制が整っています。



○県内各市町村の就農パッケージでの就農モデル（一例）

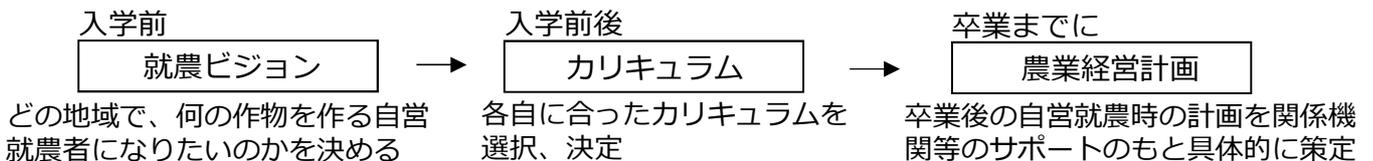
出雲市	アスパラガス
浜田市	施設野菜（有機葉物野菜）
飯南町	施設野菜（パプリカ）



3

入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

農業科 短期養成コースでは、自身の就農ビジョンに合わせて、必要なカリキュラムを自由に選択することができます。一人一人にあったオリジナルカリキュラムで就農に必要な知識・技術を習得します。



【Aさんに合った年間カリキュラムを提案】



(Aさんの場合)
前職はサラリーマンで、週末農業の経験有り
↓
農業を座学・実習ともに、基礎からしっかり学びたい

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎講義											
特別集中講義											
就農予定地研修											
就農準備											

【Bさんに合った年間カリキュラムを提案】



(Bさんの場合)
産業体験で農業を研修中
↓
就農予定地での実践研修の時間をしっかり確保し、生きた技術を学びたい。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別集中講義											
就農予定地研修											
就農準備											

●：資格免許を取得

農業科 短期養成コース 入学までの流れ

Step1 新規就農の相談

卒業後、県内で即就農する人材の養成を目的にコースが設置されています。まずは、就農を予定している市町や、県農業部等で就農相談を行い、卒業後の就農ビジョンを決めましょう。

Step2 入学試験

一般入学試験 (前期)	R6年 2/13(火)
一般入学試験 (後期)	R6年 3/5 (火)
地域推薦入学試験	R5年 11/1(水) R6年 2/13(火) R6年 3/19(火)

Step3 入学前面談

農林大学校では、就農予定地で現地研修を受けながら、講義による技術習得や資格取得が可能です。入学前に卒業後の就農ビジョンのために何が必要か明確にし、技術習得を目指します。

短期養成コースに係る経費

(1) 学費

区分	金額
入学検定料	2,200 円/年
入学料	5,650 円/年
授業料	118,800 円/年
教材費	30,000 円/年
計	156,650 円/年

(2) 寄宿舎使用料・食費 (希望者)

区分		金額
寄宿舎使用料	清友寮 (男子)	7,000 円/月
	友波寮 (女子)	11,000 円/月
寄宿舎光熱水費		実費
備品積立金		6,000 円/年
食費 (学生食堂)		朝:280円 昼・夕:430円

※授業料・寄宿舎使用料は、減免制度があります。

※農林大学校奨学金制度 (20,000円/月) があります。

※国事業の農業次世代人材投資事業 (150万円/年) の対象になります (給付要件有り)。

(3) 資格免許取得経費(一例)

区分	費用	備考
大型特殊自動車運転免許	76,900 円	検定料含む
狩猟免許試験 (わな猟免許)	3,900 円	テキスト代含む
ボイラー取扱技能講習	16,143 円	テキスト代含む
危険物取扱者試験 (乙4種)	7,500 円	試験料4,600円 + 交付手数料2,900円
毒劇物取扱者試験	19,200 円	テキスト代含む
車両系建設機械運転技能講習	16,275 円	受講料、テキスト代を含む
けん引免許(農耕車限定)	4,650 円	免許交付料含む

お問い合わせ先

・農業科 短期養成コースについて

島根県立農林大学校

住所：島根県大田市波根町970-1
TEL：0854-85-7012

・島根県での新規就農一般について

(公財) しまね農業振興公社

住所：島根県松江市黒田町432-1
TEL：0852-20-2872